

Web 上からキーワードを自動取得する楽曲データベースの提案

048051 小林 直矢

(指導教員 速水 治夫 教授)

1 はじめに

近年, Web 上で Folksonomy というコンテンツ整理手法が注目されている. Folksonomy とは, コミュニティサイトなどにおいて, ユーザがコンテンツに対し「タグ」(自由なキーワード)を付けることで分類する手法である.

多面的な解釈が存在し得るコンテンツの一つである音楽にこのタグを適用することで, 様々な視点からのプレイリスト作成ができると考えた. しかし, タグ付けにユーザの手間がかかるという点が Folksonomy において問題となっている^[1].

そこで本研究では, 楽曲のキーワード (Folksonomy におけるタグ) を Web 上の情報から自動取得することで, ユーザの手間の軽減を図った. 音楽情報サイトの楽曲を評価したコメント文を形態素解析し, 不要語を除く処理を行い, キーワードとして楽曲に付与した.

結果, 従来とは異なる視点からのプレイリスト作成が支援できた.

2 構築システムの概要

本研究で構築したシステムの概要を図 1 に示す.

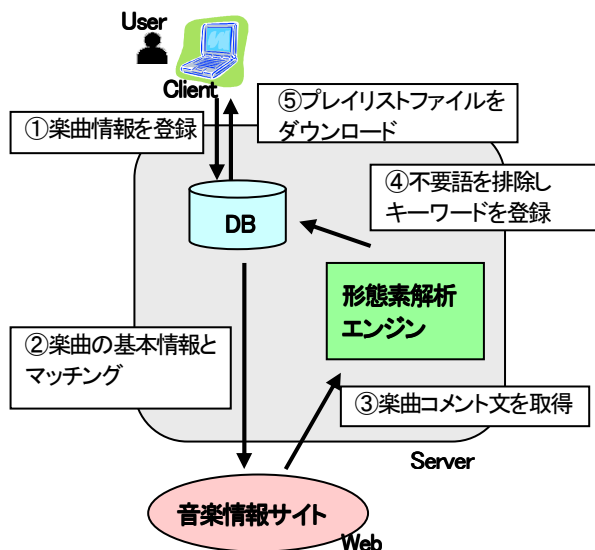


図1 システムの概要

本システムは, ユーザが所持する楽曲の情報を登録する, Web データベースシステムとした. ユーザにより登録された楽曲の基本情報から, 音楽情報サイトのコメント文が取得され, キーワードが登録される. ユーザは登録されたキーワードをもとにプ

レイリストファイルを作成し, ダウンロードできる.

2.1 キーワード取得処理

取得したコメント文を解析し得られた語のうち, 名詞, 形容詞, 副詞をキーワードの候補とした. 語の表記の揺れを統一する処理を経て, 不要語を排除する. キーワードとして適切でない語を定義し, フィルタリングした.

3 結果

以下の二つの観点からシステムを評価した. 実験協力者5名によるアンケート評価である.

評価1「楽曲に対するキーワードの適切さ」として, システムによって楽曲に付与された個々のキーワードについて, その楽曲のキーワードとして適切であるかを5段階で評価した.

評価2「プレイリストの曲目の適切さ」として, 実験協力者が聴きたい曲のテーマを掲げ, そのキーワードからリストアップされた個々の楽曲について, テーマに沿う楽曲であるかを5段階で評価した. 評価結果を表1に示す.

表1 評価結果

	評価対象	5段階評価の平均	評価が4以上の割合
評価1	23曲 255キーワード	3.48	53%
評価2	8テーマ 105曲	3.91	65%

4 おわりに

評価1の, 個々のキーワードの評価が低い値となった. 楽曲のキーワードとして適切でない語を完全に排除できていないためと思われる. しかし, 評価2の値が高いことから, 聴きたい曲目のテーマを掲げた場合のアプローチには有効であり, プレイリスト作成の支援になると言える.

今後の課題として, キーワード付与の精度向上が挙げられる.

参考文献

[1] 西村悟, 千野晋平, 三木光範, 廣安知之: Folksonomy ~タグで繋がるみんなの分類~, <http://mikilab.doshisha.ac.jp/dia/research/report/2005/0911/001/report20050911001.html>.